

「ラザリは死せり。而して我は、我が彼處に在らざりしを、爾等の為に喜ぶ、爾等を信ぜしめん為なり」

(イオアン 11:14-15)

「イイスス曰く、『石を去れ』」

(同 11:39)



仙台正教会
教会だより

2025 年
11月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四十二〇

TEL 〇二二二二五一一七四四

FAX 〇二二二四一三〇八〇

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

今年の五旬祭後第23主日の福音では、ルカ伝8章41―56節が読まれる。会堂宰イアイルの娘の蘇生と、血漏の女の癒しの話である。二つの奇跡が同時に語られる、福音書の中でも珍しい箇所である。

この福音の中で、ハリストスが血漏の女を癒している間に、イアイルの娘は死んでしまう。同様に、別の箇所では、ハリストスがカベルナウムで百夫長の僕を癒している間に、ナインのやもめの一人息子は死んだ。またベタニヤのラザリに関しても、ハリストスは彼が病氣であると聞いていながら、別の所に二日間留まったが故に、ラザリは死んでしまった。

このように、福音書で語られる死者の蘇生の話は、どれもハリストスが別

のことをしていたが故に間に合わず死んでしまったと読めるのである。

無論私たちは、ハリストスを「人となつた神」と信じている。故にハリストスは命を宰する神ご自身であり、彼には出来ないことは何もなく、死者を甦らせることも可能であると知っている。そして彼は、いくら死者を蘇生させられるからと言って、冷酷に彼等を見殺しにした訳ではない。ハリストスはやよめの哀しみにはらわたが千切れるほど共鳴し、ラザリの死を悼み、涙を流された。すなわち神は、私たちの現実をあえてそのままになさりながら、苦しみと共にしておられるのだ。なぜなら私たちの信仰は、苦しみの中にあつてこそ磨かれるからである。聖使徒パウエルは言う。「苦難が忍耐を生み、忍耐が品格を、品格が希望を生む」と。

私たちが生きる上で最も必要なものは、永遠の命への希望である。この希望は、信仰のうちに苦難を耐え忍ぶことによって確たるものとなる。そしてその苦しみは、必ず喜びに変わる。

(上)



東日本正教区主催 東北ブロック
誦経奉仕者研修会



9月23日(火)・秋分の日
に、金成教会を会場に東北ブロックの「誦経奉仕者研修会」が開催され、仙台管轄からは、仙台のルカ平塚兄、アンドレイ高橋兄、中新田のセルゲイ渡邊兄、アンナ渡邊姉、マリヤ澤邊姉の5名が参加した。

本研修会では回を重ねるごとに講義ではなく具体的な実技指導を求める声が高まり、今回は予定時間の全てを東北ブロックの4名の司祭による個別指導に費やした。ちょっとしたアドバイスで劇的に上達する方もおられ、非常に充実した会となった。

より良い奉神礼の実践のため、更なる会の充実を図りたい。



東日本主教教区主催 東北ブロック 聖歌研修会



10月18日(土)、仙台教会にて東北ブロックの「聖歌研修会」が開催された。講師は8月まで仙台を管轄されていたダヴィッド水口神父様。以前の聖歌研修会では東北全体から参加者が一堂に会していたが、一昨年より交通の便を考慮し仙台と盛岡で開催することとなり、当日は仙台管轄と石巻管轄の信徒27名が集まり、神父様のお話に耳を傾けた。

今年の聖歌研修会のテーマは「バランス」。神父様は、バランスとは「二つ以上のもの(複数)が均衡を保って『一つ』のようになる」ことであり、それが聖書が言うところの「美」であることが説明になった上で、実際にバランスを崩さないためには、①「〜過ぎないこと」と、②「周りの声を聞く」ことが肝要であるとお話しになった。

そしてこの2点を踏まえ、「バランスを崩しやすい」歌をいくつかピックアップして皆で実際に歌い、バランスを崩さないコツを学んだ。

また、ご講話の中で神父様は、「『一つになる』とは形式的・外面的なことだけではなく、精神的、信仰的な面でも究極の目的」と述べられた。バランスとは、聖歌を歌う上での注意点であるのみならず、愛・一致を目指す私たち正教徒の人生に於ける大切なテーマであり、聖歌を歌う上で心掛けるべきことは、そのまま生活の様々な場面にも当て嵌まる。

水口神父様は、バランスという「何となく分かっているけど具体的には分かっていない」抽象的なテーマを、ユーモアを交えて解りやすく解き明かしてくださり、とても有意義な研修会となった。

最後に、会場設営からお茶菓子の準備までご奉仕下さった仙台正教会聖歌隊の皆様にご挨拶申し上げます。

ありがとうございます。
ありがとうございました。



山田ハリストス正教会 主の復活会堂 訪問報告

婦人会 ウエラ山中由美



山田教会は、岩手県山田町に一八七九（明治十二年）に建立され、火災や津波など様々な困難を乗り越えてきましたが、二〇一一年三月十一日の東日本大震災で焼失しました。後に盛岡教会管轄司祭のダヴィド水口優明神父様（当時）※が再建し二〇十八年十二月に成聖されました。聖堂正面にはキプロスで作られた「全能者ハリストス」のモザイクイコンが掲げられ、聖堂右にはジョージアの信徒から寄贈された「復活の鐘」が設置されています。

九月二〇日（土）仙台教会信徒八名はレンタカーのトヨタハイエースに乗車し小雨降るなか約二〇〇キロ先の山田教会を目指しました。途中何度か休憩をはさみながら「山田町震災伝承ギャラリー」や「鯨と海の科学館」に立ち寄り、ホテルにチェックイン。山田教会は震災後造成された街なかにある可愛らしい建物でした。午後四時に教会の前晩禱に参拝し、ピーメン松島拓神父様の静かで力強い祈禱、クリスティナ松島和香子マトシカの誦経、一〇人ほどの山田教会信徒の皆さんの単音聖歌に耳を傾けながら共に歌わせていただきました。聖堂のイコノスタスや写真集を拝見、隣室の納骨室も見せていただきました。

二一日（日）午前一〇時からの聖体礼儀では、松島神父様の講話に深く感銘を受けました。他教会との信徒同士の交流の大切さなどのお言葉の一つひとつが胸に響き、日々の暮らしを見つめなおす貴重

な機会となりました。その後、近くの食事処で「馳走をいただきながら、お互い参拝の感想を述べながら自己紹介したり、「岩手山田旅情」という歌を披露したり親睦を深めました。服部姉たちの着物リメイクの洋服や贈り物のバッグも好評でした。帰りは青空のもとで車窓から山田湾の絶景を見、道の駅に立ち寄りながらの快適な旅でした。運転手のアンドレイ高橋兄には深く感謝します。

※二〇一九年十月〜二〇二五年八月仙台教会管轄司祭。なお、オリガ水口敦子マトシカが山田教会訪問の計画を立て、婦人会で準備を進めていましたが、八月に石巻教会へ転勤されたため、残念なことに同行ができませんでした。



中新田正教会だより

9月26日(金)から27日(土)にかけて司祭の巡回があり、十字架挙栄祭をお祝いした。26日は晩課の後に19時半頃まで残って聖歌練習、聖体礼儀での変更箇所を予習した。実はその時間に十字架の花飾りもする予定であったが花屋が閉まってしまったため渡邊ご夫妻に花の購入と飾り付けを依頼。司祭の祝福用(手持ち)十字架は原則的に信徒は触れない為、置き型の八端十字架を預けたところ、とても美しく飾ってくだった。

そして27日には十字架が聖堂中央に安置されるなか聖体礼儀を献じ、皆で十字架に伏拝した。



白河正教会だより

10月4日(土)から5日(日)にかけて司祭の巡回があり、徹夜祷と聖体礼儀が行われた。

5日には、聖体礼儀に続けて秋の総パニヒダと、ようやくシートが取れてその美しい姿を見せてくれた聖堂の修復成聖が行われた。生憎の曇り空であったが、そのような天気を晴れやかに変容させる喜びの歌声が境内に響いた。



➡9月26日の河北新報に白河教会の写真集を紹介する記事が載りました。仙台にも少し在庫があります。1,500円。

ハリストス正教会 白河で布教150年 写真集出版 山下りんのアイコン収録

白河正教会は、白河でキリスト教の布教活動が始まってから150年となるのを記念し、写真集を制作した。白河の司馬忠太郎が記した「白河をゆく」の中で「聖パリの教会」と紹介した魅力などが伝わる内容となっている。

白河町でカラー300。写真家の南澤孝弘さんらが撮影した。教会の内外の風景、日本初的女性洋画家とされる山下りん(1857-1908年)が描いた「聖パリの教会」など、一巻に収められている。

教会の魅力を伝える写真集



献金報告 (9.17~10.21)

○聖堂内献金 六万二百四円

○感謝献金

横山望

中新田教会

宮崎正美、有原昌

大寺宏子、鈴木留里子(共に白河)

○聖名祭感謝献金

平塚裕

○パニヒダ献金

木村富貴子、勝又稚佳子

平塚裕、大立目謙直、岡多喜子

八文字積子、木村良治、熊谷経光

山田喜美雄、永元道子、高橋嘉彦

千葉温、木村史之、大立目潤子

小原淑子、岡崎たい子、岡崎雄俊、

飯塚順子

○会報感謝献金

涌谷教会

○納骨献金

横山栄子

櫻井恵美子

○敬老感謝献金

本多弘子、笹川純子、平塚裕

山寺しちよ、佐藤幾久子

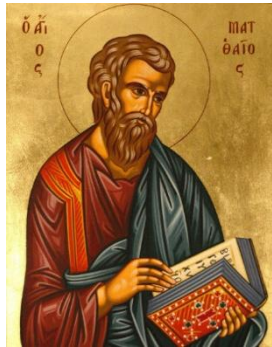
※敬称略

11月聖名日 モレーベンのご案内 11月16日(日)聖体礼儀後

11 月の聖名日モレーベンに該当する方々です。ぜひご参拝ください。



▲聖使徒イアコフ



▲聖使徒マトフェイ

聖名日	聖 名	氏 名(敬称略)
11/2	アルテミイ(アンティオケの聖大致命者)	針生晶朗
11/5	イアコフ(主の兄弟、聖使徒)	道家和夫、横山 渉、若松勝也
11/8	ディミトリイ(フェサロニカの大致命者)	小野嘉耶、小幡楠城
11/9	カピトリナ(聖致命女)	早坂美穂
11/11	アナスタシヤ(ロマの聖致命女)	大槻和恵
11/12	ジノヴィヤ(キリキヤの聖致命女)	遠藤宏美
11/14	ダミアン(メソポタミアの奇蹟者廉施者)	岡 潔、遠藤正義
11/14	キリエナ(聖致命女)	小堀彩華
11/20	ラザリ(ガリシヤの克肖者聖神父)	小野寺洋
11/24	ビクトル(ロマの聖致命者)	土田貴一郎
11/26	イオアン(コンスタンチノーブルの大主教金口)	高橋哲郎輔祭、勝又良樹
11/26	マネファ(カッパドキヤ・ケサリヤの聖致命女)	鈴木いく子
11/29	マトフェイ(聖使徒福音者)	針生勝通、横山毅、土田定克、佐々木隆

「ミニバザー委員会」のご報告

10月21日(火)午後1時より、昨年までのバザーの残品確認を行ったところ、ミニバザーを開催できるほどの物品はありませんでした。11月いっぱい是在庫を会館4階に並べておきますので、ご入用の物があればお持ち帰りください。



執事会報告

日時：令和7年10月7日 午後2時～3時半
場所：3階会議室

一、報告事項

- ・9/14 敬老会、神父歓迎会、聖名祭モレーベン、山田教会訪問旅行モレーベン実施。70歳以上参拝者25名、クオカード贈呈総数28枚(郵送含む)、残22枚。
- ・9/18 東北ブロック宣教委員会(一関) 出席：司祭、ウエラ山中姉
- ・9/20-21 仙台教会有志山田教会訪問
- ・9/21 生神女誕生祭
- ・9/23 誦経奉仕者研修会(金成) 参加：司祭、ルカ平塚兄、アンドレイ高橋兄
- ・9/24 火災保険契約
- ・9/26 電気設備定期調査。異常無し。
- ・9/28 十字架奉栄祭後の主日
- ・9/30 エレベーター点検。異常無し。
- ・10/2 キプリーラ横山姉 納骨(笹川執事長同行)。ピアノ調律2台。

二、協議事項

(1) 聖堂外壁クラック修繕の件

鹿島建設より聖堂南側のみ修繕の見積りを取ったところ、南北両面の修繕と大して変わらない約78万円という額が提示された。早急に工事が必要という訳ではない為、平塚兄に他の業者を探してもらい、再度検討する。

(2) 聖歌研修会の件

昨年同様、会場設営や当日の飲み物・菓子類の準備は聖歌隊に依頼する。

(3) 七五三の件

11月16日の聖名祭モレーベンに併せて、七五三のモレーベンを行う(該当者が参拝した場合)。お菓子5セット用意(太田姉)。袋に貼るシールを準備する(田畑)。

(4) ミニバザー委員会の件

10月21日13時に集まり、在庫を確認する。

三、その他

・会館の保険料が大きく値上がりした為、来年の更新に向けて検討する(ほけん

の窓口を利用する、ネット保険を視野に入れる等)。

・執事会の若返りを目指す。多くの信者に当事者意識・責任感を持ってもらえるよう発信する必要がある。現役世代が執事となる為には火曜午後の執事会では出席が困難な為、必要に応じて執事会を日曜に戻す等、対応する。

・150年記念クオカードは千五百円で頒布されているが、あまり認知されていない為、聖堂入口のショーケースに入れて人目に触れるようにし、周知を図る。

・廻家祈禱を希望する声有り。実施する。
・日頃教会と接点のない方(埋葬式の際の遠方に住む遺族等)に対し、献金の目安額を伝える必要があるのではとの提言があった。

◇降誕祭の斎◇

●ユリウス暦

11月28日から

●修正ユリウス暦

11月15日から



11 月の行事・奉事予定

○仙台教会

- 1 日(土) 徹夜祷はありません 第4調
2 日(日) 第21 主日代式祈祷(10 時 30 分)
書札 ガラティヤ 203 端 2:16-20
福音 ルカ 83 端 16:19-31
◆聖堂清掃奉仕
4 日(火) 定例執事会(14 時)
8 日(土) 主日徹夜祷 第5 調(17 時)
9 日(日) 第22 主日聖体礼儀(10 時)
書札 ガラティヤ 215 端 6:11-18
福音 ルカ 38 端 8:26-39
■月例パニヒダ
15 日(土) 主日徹夜祷 第6 調(17 時)
16 日(日) 第23 主日聖体礼儀(10 時)
書札 エフェス 220 端 2:4-10
福音 ルカ 39 端 8:41-56
◎聖名祭モレーベン
★七五三モレーベン
22 日(土) 徹夜祷はありません
23 日(日) 聖体礼儀・代式共にありません



23 日(日) ~
24 日(月)
東北ブロック
信徒懇親会

○中新田教会

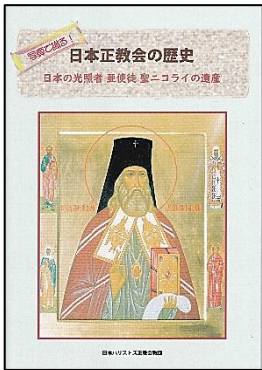
- 9 日(日) 第22 主日代式祈祷(10 時)
22 日(土) 主日徹夜祷 第7 調(17 時)
23 日(日) 第24 主日聖体礼儀(10 時)
■月例パニヒダ(11-12 月分)
★七五三モレーベン
29 日(土) 主日徹夜祷 第8 調(17 時)
30 日(日) 第25 主日聖体礼儀(10 時)
書札 エフェス 224 端 4:1-6
福音 ルカ 66 端 12:16-21

○白河教会

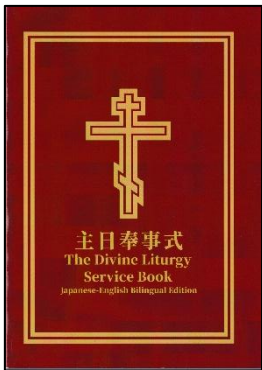
- 10 月 31 日(金) 教会清掃(9 時半)
1 日(土) ~ 3 日(月) 一般公開
1 日(土) 主日徹夜祷 第4 調(18 時)
2 日(日) 第21 主日聖体礼儀(10 時)
16 日(日) 第23 主日代式祈祷(10 時)

11 月の予定

- 【代式祈祷】2(日)
【聖堂清掃奉仕】2(日)
【月例パニヒダ】9(日)
【聖名祭・七五三感謝祈祷】16(日)
【信徒懇親会】23(日)-24(月)
【聖歌隊】(発声)9(日)13 時半
(練習)2(日)、16(日)、30(日)
【婦人会】30(日)ツリー飾り付け
【方舟会】30(日)総会、ツリー飾り付け



『写真で識る 日本
正教会の歴史』
頒布献金:200 円



『主日奉事式 日英
対訳』
頒布献金:1,500 円